

■植松自謙 信州心学の開祖。“加助菩薩”と呼ばれて敬慕された。

うえまつじけん

・ ・ ・ ・ ・ 1750 = 信濃国諏訪郡瀬沢新田で、名主の子に生まれる。

徳川吉宗没・1751 = 1歳 :

大弐政治批判1759 = 9歳 :

大岡忠光没・1760 = 10歳 :

錦絵始・ ・ ・ 1765 = 15歳 : 江戸に出,

久留米藩工事1768 = 18歳 :

帰郷し,

田沼意次老中1772 = 22歳 :

黄表紙始・ ・ 1775 = 25歳 : 家督を相続し、名主役となるが,

・ ・ ・ ・ ・ 1777 = 27歳 :

かねてより、人の道を学びたい志を持っていたので、家督を弟に譲って、再び江戸に出,

書店に勤め,

精勤ぶりが認められて、別家、独立。

田沼意次失脚1786 = 36歳 :

時々、幕府の聖堂で講釈を聞いていたが,

松平定信引退1793 = 43歳 :

オランダ正月・1794 = 44歳 : *中沢道二が江戸に{参前舎}を開設した際に、道話を聞いて感激し、即座に入門。

写楽・ ・ ・ ・ 1795 = 45歳 :

_修業ぶりや人格を、道二から高く評価されて、諸国巡講に伴われ、また、単独で遊説に遣わされる。

伊能測量始・1800 = 50歳 : 諏訪郡で、{寛柔舎}を取り立て,

アフリカ船来航始1803 = 53歳 : *道二が死去すると、{参前舎}を預かる留守居役となる。

バブリア来航・1804 = 54歳 :

_その後も、巡講の行脚を続け、数万といわれるほどの門人を擁したが,

・ ・ ・ ・ ・ 1810 = 60歳 : {時中舎}が取り立てられる年に、京都に上った際、病を得て、_没した。

「人づくり風土記(長野)」,